

北九州モノレール 『中期経営計画2025－2029』

1 策定の経緯

北九州モノレールは、北九州都市圏の公共交通ネットワークを支える基幹的交通手段として、安全・正確・快適な運行を堅持し、2025年1月に開業40周年を迎えた。コロナ禍においても中期経営計画の重点施策に着実に取り組んできたことに加え、社会・経済活動の正常化が進んだことが追い風となり、輸送人員はほぼコロナ禍前の利用状況までに回復することができた。

しかしながら、今後は、沿線人口の減少や高齢化による輸送人員の減少、老朽化した車両をはじめとする諸設備の更新など、厳しい経営状況になることが予測される。

これらの諸課題に備え、将来にわたり確固たる経営基盤を確立するため、新たな中期経営計画（2025－2029）を策定した。

2 計画の内容

(1) 計画期間…2025～2029年度

(2) 本計画のポイント

- ◇ 計画策定の前提として、沿線人口の減少・高齢化の進展が危惧されるものの、中期経営計画期間は、各種利用促進策の実施により2025年度目標数値の33,800人／日の維持を目標とする。
- ◇ 車両設備については、資金調達を前提に、車両状況の面で優先度の高い3編成の更新を目指す。信号・通信設備や電力設備等の更新についても計画に基づき進める。
- ◇ 安全・安定輸送の維持及び便利で快適なサービス継続のため、利用促進策の推進による輸送人員増や運賃改定を含めた増収策を行うとともに、民間金融機関等からの資金調達、国等の補助メニューの活用に向けた検討等を行う。なお、運賃改定については、国や市と協議を行い、改定額や時期について具体的な検討を行う。
- ◇ 年齢別人員構成の適正化を図り、円滑な技術継承と同時に若手社員の育成を進めるため、計画的な採用を行う。また、設備の維持管理及び災害時や非常時に対応可能な技術者を確保するため、正社員定年退職者の継続再雇用を行う。

(3) 重点施策と目標

重点施策	目 標 （主な方策）
① 輸送の安全と定時運行の確保	・ 自責による5分以上の遅延ゼロ
② お客さま満足度向上	・ C S 調査満足度の向上（接客力の向上、情報発信強化）
③ 輸送人員増と収益力強化	・ 営業収益確保（利用促進施策の推進、付帯事業収入増）
④ 設備更新計画の推進	・ 設備更新の確実な実行（更新財源の確保、車両更新、設備のスリム化、更新費用・メンテナンスコスト低減）
⑤ 人財の確保と育成	・ 安定した人財確保と技術継承（採用活動、乗務員養成）